

## 保護者会長挨拶



山形職業能力開発専門校  
保護者会 会長 軽部 純一

日頃より保護者会活動へのご理解とご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。  
ございます。

1年生の皆さんは学校にも慣れ、勉強・訓練に励んでいることでしょう。

2年生の皆さんはまさに就職活動真っ最中で、決まった方もこれからの方も、  
勉強・訓練と並行して忙しい日々を送っていることと思います。

自動車も建築も人々の生活には無くてはならないものです。その中でプロになろうとしている皆さんを応援できることをうれしく思っております。

プロと聞いて皆さんは何を想像しますか？豊富な知識と技術力を兼ね備えた人でしょう。私は加えて対応力もその一端を占めていると思います。

どんな業界にも苦情、苦言は付きものです。お客様の苦情や苦言に接したとき、「いやだなー」と思うか、「これからより親しくなれる」と考えるかで大きく信頼が変わってくるでしょう。お客様の声をよく聞き、豊富な知識と技術で答え、笑顔で対応できる人がプロなのではないでしょうか。

人の印象に一番残る表情は笑顔だと聞いたことがあります。この人にまかせて良かった、そう思ってもらえるような人材になって下さい。その為にも、先生方の知識と技術をしっかりと学んで下さい。

私自身、今なおそうありたいと日々人生の勉強中です。

保護者の皆様も秋の秋栄祭にぜひ足を運んで頂き、子供達の頑張りにエールをおくって頂ければ幸いです。最後になりますが、専門校の益々のご発展と第一線で活躍する子供達の姿を心よりお祈り申し上げます。

## 校長挨拶

校長 木村 学



平成29年度は、4月10日に定員を上回る47名の新入生を迎え、2学年合わせて87名でスタートし、早いもので4カ月目となりました。「2年で、なりたい自分になる。」を目標に、1年生、2年生ともに、順調に学習や実習を積み重ね、技術者への道をしっかりと歩んできているものと考えております。

午後の実習場に時々足を運んでみますと、先生方の熱心な指導のもと、真剣にそれぞれの課題に取り組む生徒の姿が見られます。全員、自動車整備や住宅建築関係の仕事に就くという明確な目標を持って入校してきてただけに、特に実習に取り組む姿には、一日も早く有能な技術者になりたいという気概さえ感じられるほどです。

本校の使命は、本県産業界のニーズに対応できる専門的な人材を育成し送り出すことです。これを実現する大きな力となっているのが、少人数グループ制によるきめ細かな指導と2年間で1,500時間にも及ぶ豊富な実習です。これが関係業界からも高く評価され、平成21年度以降、本校の就職率は100%を継続してきております。また、就職先も大半が県内となっているという状況です。

さて、2年生の就職の進捗状況ですが、3月に企業説明会を実施した自動車科では、これからの試験待ち等の生徒が若干おりますが、ほとんどが既に内定を頂いております。また、建設技術科では6月29日に求人面談会を実施し、これから就職活動が本格化していきます。早期の全員内定を勝ち取れるよう、全力であたっけてまいります。

全職員が一丸となって本校の使命を果たせるように、また、一人ひとりの生徒が「なりたい自分」になれるように誠心誠意頑張っておりますので、保護者の皆様からも御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。